第四次総合計画における新市の一体感とは

新風会　北本　周作

質問→次期総合計画が住民参画の中で策定中であるが「一体感の醸成」としてどのような施策をもって新市の発展、振興にあたるのか。

答弁→合併後の重要課題として住民意識の一体感の醸成を図りハード・ソフト両面のバランスの取れたまちづくりに取り組む。市域の拡大により地域資源や特色を生かし地域の活性化を図る必要があり、そうした中で久米産業団地は企業誘致の最重要地区として三社が内定しており、新津山市の新たな地域振興が期待される。また、国道一八一号は合併により久米地域と市街地を結ぶ重要な路線であり、院庄交差点から新錦橋間は朝夕の渋滞が激しく拡幅要望も強いことから地域間交流、振興の面からも次期総合計画の中で県事業として強く要望する。

「まちづくり」と「子どもプロジェクト」

津山新星会議　佐々木裕子

質問→ケーブルTVは情報共有のため重要な課題だが、加茂・阿波地域や旧市内の未設置地域へはどのように広げていくのか。

答弁→テレトピア計画は利用できないため起債で行っていく予定で、現在県と協議している。

質問→税金で取得したアルネは、今後徹底した行政サービスで住民に返すべき。四階の活用に市民の意見を反映する考えは。

答弁→住民の理解が重要と考えている。合意形成を図りながら運営していく。

質問→現在の「津山っ子未来プロジェクト」を市長直轄の組織にするとのことだが、責任体制はどうなるのか。

答弁→福祉健康部長を総括者、教育次長を副総括者として各課長、審議室長をメンバーと考えている。

新津山市の環境問題、久米産業団地

新風会　庄司　勝義

質問→環境保全、環境美化がある中、リサイクル法等で民有地不法投棄物撤去は行政でできないか。

答弁→資源循環型社会の形成、持続可能なまちづくりに努める。民有地へ不法投棄しない警戒と教育実施。

質問→桑下地区の未処理廃棄物が二千トンある。平成十五年六月十八日に公布の特定産業廃棄物に起因する特別措置法九十八号で早急に撤去してほしい。

答弁→速やかに撤去されるよう県に対して強く要望する。

質問→久米産業団地も下水道、苫田ダム完成、津山市へ合併でイメージアップし久米地区民の期待は大きい。企業誘致状況は。

答弁→合併後、企業からの引き合いが飛躍的に増え、三社の立地が十月には発表できる予定。交渉中の企業もある。

総合計画における農林業と情報システム

新世紀の会　竹内　靖人

質問→総合計画では農林業にどんな思いを寄せて取り組むのか。

答弁→農林業は益々重要。生産基盤の整備、農用地の高度利用や効率的な生産体制の整備、担い手育成など、農林業の振興に努めたいと考えている。

質問→国の推進するバイオマスタウン構想のメリット、取り組みは。

答弁→家畜糞尿・風倒木等の未利用農林産物を有機的に結んだ新産業の創出や雇用の拡大が期待できるが、解決すべき課題も多く、先進地事例を参考に慎重に取り組みたい。

質問→新市における災害時の情報伝達手段はどうなるのか。

答弁→国は、防災行政無線のデジタル化を進めているが多額の経費（約四十億円）が必要とされ、基本構想の策定には十分な検討が必要と考える。

◎ 議員は病気見舞金も禁止されています。